

研修報告

専門研修⑨

◆テーマ：「脳卒中の両立支援におけるソーシャルワーカーの役割」

◇講師：大塚文先生（広島文化学園大学 看護学部看護学科教授）

◇研修日：R1年11月30日（土） 13:30～16:30

◇会場：日本福祉大学 名古屋キャンパス

◇参加人数：19名



◇アンケート コメント紹介◇

- ・これまで、手探りで就労支援を行なってきた、これでよかったのかとあいまいだった部分の答えも見えたところがあり、たいへん勉強になった。学んだことを院内でも共有し、患者さんへ還元していきたいと思った。
- ・日ごろの両立支援の業務の中で悩んでいることのヒントを得ることができて良かったです。
- ・様々な機関があるので、まずは自分の目で見てつながりを持つこと、他職種を巻き込んでいくことに向けてできることを考えていきたいと思いました。急性期でもできることはあるので、次へつなげられるように一端を担っていきたいです。
- ・グループワークで他の病院の取り組みや悩みを共有することができて良かった。回復期のMSWとして、今後の流れが分かるような就労支援の仕組みづくりを院内・部署で検討していけたらと思う。
- ・地域性の中の当たり前としていた視点が、地域によって社会資源や病院機能によっても異なるアプローチがされており、広い視野で関わっていきたいと思いました。
- ・他の病院で行っている支援を知ることができよかった。こういう支援もいいのだと思えることもあり、今後につなげたいと思えた。

専門研修委員より

2016年に『治療と職業生活の両立支援のためのガイドライン』が公表されて以来、全国で両立支援コーディネーター研修が開催されています。また、前回の診療報酬改定においてがん患者さんに対して「療養・就労両立支援指導料」が新設されました。脳卒中における両立支援に関しても時機到来と感じ、本研修を開催いたしました。

広島文化学園大学教授の大塚文先生を講師に前半は講義形式、後半はグループワークをおこないました。MSWが中心となり脳卒中両立支援の各医療機関における仕組み作り・アウトリーチの大切さを講義では学びました。グループワークでは参加者それぞれの状況や目標を共有することができました。